



懸 かけはし 橋

# ぎかいだより



新年かきぞめ大会に参加したこどもたち

- ◆ 米農家へ種子代金、乾燥・調整経費を助成・・・・・・・・・・2ページ
- ◆ 町政を問う（一般質問：4人）・・・・・・・・・・5～9ページ
- ◆ 総務文教常任委員会活動報告・・・・・・・・・・10ページ
- ◆ 産業民生常任委員会活動報告・・・・・・・・・・11ページ

— 第4回定例会 —

# 米農家へ種子代金、乾燥・調整経費を助成

米価下落対策として642万円計上、農家負担の軽減へ



議事を進行する佐々木議長

平成26年第4回定例会は、12月4日から9日までの6日間の会期で開かれ、町行政組織条例の一部改正や平成26年度一般会計及び特別会計の補正予算など、報告1件、諮問1件、議案19件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり同意・可決しました。

また陳情1件を採択し、これを受け、委員会発議により意見書を提出することを可決しました。

一般質問には、4人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。

◆一般会計補正予算(第4号)

平成26年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ9167万円を増額補正し、予算総額を107億5773万円としました。

歳出の主な内容は、電気自動車用電源設備工事費641万円の減額と、公共施設整備基金積立金300万円、障害者(児)給付費等約4238万円、米価下落対策経営安定助成金642万円などの増額です。

歳入は、町税1550万円、国庫支出金5372万円を充て、不足分については、町の貯金である財政調整基金から4487万円を取り崩すことになりました。



提案理由を説明する三村町長

## 26年度12月補正予算の内容

会 計 別	補正額	補正後の額	歳出の主なもの	
一 般 会 計	9167万円	107億5773万円	電気自動車用電源設備工事費 ▲641万円 障害者(児)給付費等 4238万円 米価下落対策経営安定助成金 642万円	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2094万円	28億5230万円	診療報酬給付費 1300万円
	奨学資金貸付事業特別会計	-	1626万円	
	公共下水道事業特別会計	231万円	11億1117万円	下水道整備工事費 ▲450万円
	農業集落排水事業特別会計	30万円	1億2541万円	
	介護保険特別会計	▲141万円	21億2297万円	介護予防支援業務委託料 164万円
	公共用地取得事業特別会計	-	3906万円	
	後期高齢者医療特別会計	-	1億5283万円	
計	2214万円	64億2000万円		
(公営企業会計) 病院事業会計	192万円	11億2731万円		
収益的収入及び支出	110万円	10億 659万円	損害賠償要求交渉委任委託料 110万円	
資本的収入及び支出	82万円	1億2071万円	レセプトシステム購入費 82万円	
総 計	1億1573万円	183億 504万円		

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。



## 中学生までの医療費無料制度の 期限を延長

◆町子ども医療費助成条例の一部改正

平成27年3月31日をもって終了する中学校3年生までの子どもの医療費無料制度を平成30年3月31日まで延長します。

青森県一を目指す施策の中で、若い人からも医療費抑制等をPRするためにも高校までの無料化の検討をお願いしたい。



第4回定例会のようす

## 洋光台団地の販売奨励金制度の 期限を延長

◆町洋光台定住促進条例の一部改正

町または青森県新産業都市建設事業団から、洋光台団地分譲地を購入し、3年以内に住宅を建築した方に対する助成制度を平成31年3月31日まで延長します。

講ずるのか。

【町長】 洋光台団地の販売促進についてはご心配をおかけしているが、早く売りたいというのと同じ認識だと思つう。これまでも対策を講じ一時のなカンプル剤になったかと思つうが、さらに真剣にPR方法を検討していきたい。

日本全体の景気にも左右されるが、精一杯の知恵を出して販売促進に向けた営業活動をしたので、馬場議員にも知恵を貸していただきたい。

【質疑】 分譲区画はまだ残っているのか。

【企画財政課長】 全部で8区画残っている。今年度の契約実績はない。

【馬場議員】 今年度0件ということで、町ではどんな対策を

## 政府は過剰米の処理を ―陳情―

産業民生常任委員会において審査されていた「政府による緊急の過剰米処理を求める陳情書」について、採択すべきであるという委員会の報告を受け、議会は全会一致で陳情を採択しました。

また、採択に伴い、委員会提案により、農林水産大臣に意見書を提出することを可決しました。



審査結果を報告する吉村敏文委員長

## 人事案件に同意

◆町教育委員の任命につき同意を  
求めることについて

二人の委員の任期満了に伴い、西館あい子氏を引き続き任命し、また新たに旧百石町商工会理事や旧百石町交通安全母の会の会長を務めた小向陸子氏を任命する提案がありました。

議会では、全会一致により任命することに同意しました。

任期は平成26年12月10日から平成30年12月9日までとなります。

◆人権擁護委員の候補者の推薦に  
つき意見を求めることについて

任期満了に伴い、引き続き西館あい子氏を人権擁護委員候補者として推薦する提案がありました。

議会では全会一致により推薦することに同意しました。

任期は平成27年4月1日から平成30年3月31日までとなります。



にしだて こ  
西館 あい子 氏 (藤ヶ森)



こむかい むつこ  
小向 陸子 氏 (一川目)

## その他の審議案件

◆一般会計補正予算(第3号)  
衆議院議員総選挙に伴う費用として1243万円を増額補正し、平成26年11月21日付で専決処分したことについて議事に報告がありました。

◆町行政組織条例等の一部改正  
行政組織機構の見直しに伴い、平成27年4月1日から課の組織及び分掌事務を改めます。

◆町議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正  
町総合計画の基本構想を議決事項として条例として定めます。町民の代表である議会の議決を経ることにより、まちづくりのビジョンである基本構想が町全体の総意により策定されたものとなります。

◆町一般職員の給与に関する条例の一部改正  
県人事委員会勧告に準じ、若年層に重点をおいた給料月額を引き上げるとともに、期末・勤勉手当を0・1月引き

上げます。

上げます。

◆町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正  
町長・副町長の期末手当の支給割合を現行の2・8月から2・9月に引き上げます。

◆町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正  
教育長の期末手当の支給割合を現行の2・8月から2・9月に引き上げます。

◆町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正  
特別参事(病院院長)の期末手当の支給割合を現行の2・8月から2・9月に引き上げます。

◆町国民健康保険条例の一部改正  
健康保健法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い所要の改正を行います。  
出産育児一時金の支給額を39万円から40・4万円に引き上げます。

◆源泉所得税の徴収漏れ  
測量士や建築士及び土地家屋調査士などに対する報酬・料金等や復興特別所得税の源泉徴収漏れ(約105万円)があったことについて、議会に対し報告がありました。

## 行政報告

◆町太陽光発電事業に係る提案事業の辞退  
町では、洋光台地区の軟弱地盤である未利用地について、太陽光発電事業者に貸し付け、土地の有効活用を図ることを目的に、「太陽光発電事業」を進めることとしていました。しかし、事業者である㈱二本木油店から発電した電力量の接続容量が不足なこと、受け入れ可能な工事費が多額であるという理由により、町に対し辞退届の提出があったことについて議会に対し報告がありました。

◆行政組織機構の見直し  
平成26年3月に三村町政がスタートし、平成27年度を迎えるにあたり、政策公約推進

11月28日、第4回全員協議会が開催され、行政組織機構の見直しなど4つの案件について協議しました。

## 全員協議会

に向けた取り組みを具現化するため、効果的・効率的な行政運営体制を構築するもの。

◆町新型インフルエンザ等対策行動計画の策定

◆訪問看護ステーション事業の休止

◆損害賠償要求の経過報告

現在	平成27年度4月から
総務課	総務課
行政管財課	企画財政課
企画財政課	まちづくり防災課
まちづくり防災課	町民課
町民課	子育て支援室
環境保健課	環境保健課
環境保健課	健康長寿推進室
介護福祉課	介護福祉課
地域包括支援センター	地域包括支援センター

- ①環境保健課に健康長寿推進室を設置します。
- ②地域包括支援センターがいきいき館から分庁舎に移ります。
- ③町民課に子育て支援室を設置します。
- ④行政管財課を廃止し、総務課と企画財政課に事務を所管換えます。
- ⑤企画財政課の一部事務をまちづくり防災課に所管換えます。



# 町政を問う

～ ここが聞きたい 一般質問 ～

ページ	質問事項	質問議員
6	1. 町総合計画後期基本計画の概要について 2. 健康長寿で青森県一を目指す取り組みは 3. 国道45号線中心街空き店舗解消の取り組みは 4. ふるさと納税の取り組みは 5. おいらせコールセンター事業について	平野敏彦
7	1. 町の将来について 2. 除雪対策について 3. 米価下落について	檜山忠
8	1. 平成26年産米米価下落に町としての対策は 2. 当町の農産物改良協議会について問う	田中正一
9	1. 「道の駅」設置計画について 2. ETC設置について 3. 「おいらせブランド」について	高坂隆雄

※「一般質問」とは、議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことです。年4回の定例会にて行われます。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約していますので、本会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ（<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>）で閲覧できます。

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作製しています。

# 一般質問



平野 敏彦 議員

## 町後期基本計画の概要は

**質問** 基本計画と47施策の事業内容は、いつ町民に示されるのか。

**町長答弁** 事業数は230以上に及び、概要はホームページに掲載し、公表しています。

**質問** ホームページを見る機会のない高齢者の理解を得るには。

**町長答弁** 町広報や、いろいろな形で万全を尽くし、理解を得るよう対応します。

**質問** 町長選挙公約の優先プロジェクトと、基本計画の関わりについて。

**町長答弁** 後期基本計画の47施策と、公約の10プロジェクト項目推進には、健全財政を堅持し、政策推進チームを設置して、実現に向け進めます。

## 健康長寿青森県一を目指す その取り組み内容は

**質問** 平均寿命全国最下位の青森県のなかで、おいらせ町は男女で10位になっている。県一を目指す具体的取り組みは。

**町長答弁** 疾病の早期発見、受診率の向上、健康ポイント事業の導入の検討の他、環境保健課内に健康長寿推進室を設置します。

**質問** 軽スポーツと、スポーツ・レクリエーションの町民の理解度は。

**町長答弁** 心身の健康保持増進に重要な役割を果たすスポーツ・レクリエーション、ウォーキングをはじめ、いろいろの種類の軽スポーツ、一町民一スポーツの底辺拡大に力を入れます。

**質問** 町独自のエイジレス・ライフの取り組みは。

**町長答弁** 高齢者が年齢にとらわれず、スポーツや就業者、社会活動をおして、自由に生き生きとした生活を送る事は大きい有用です。積極的に取り組んでいきます。

## 国道45号線中心街 空き店舗の解消策は

**質問** 現在の空き店舗数と解消策は。

**町長答弁** 商店街は地域経済の中心として住民の生活を支える役割を担っています。今年度は軽トラ市等を開催し誘客を図ってきました。空き店舗活用については街中サロンのなコミュニケーション施設の設置について検討することとしています。

**質問** 空き店舗新規出店事業者への支援助成は。

**町長答弁** 他市町村の事例もあり、店舗を活用して新規出店者や企業誘致などは、雇用創出の観点から有効な手段として検討します。

**質問** 空き店舗の解消策は。

**町長答弁** 他市町村の事例もあり、店舗を活用して新規出店者や企業誘致などは、雇用創出の観点から有効な手段として検討します。

**質問** 応援したい地方自治体に寄付すると税金が減額されるか。

**町長答弁** 新メニューの追加を含め積極的に取り組まします。

**質問** 応援したい地方自治体に寄付すると税金が減額されるか。

**町長答弁** 新メニューの追加を含め積極的に取り組まします。

## おいらせコールセンター 報道内容と現状は

**質問** 町とコールセンターが交わした補助金に関する契約関係書類が、ある会社の商業取引に使用され、トラブルになっていると報道されているが、その内容は。

**町長答弁** 新聞報道により、町民を初め議員の皆様、コールセンターに係る関係機関、団体にご心配をおかけし、お詫び申し上げます。

**質問** 納税の特典メニューは。

**企画財政課長** 黒にんにくセット、だるま芋へちまこスープセット、エゴマ油・ごぼろ茶・蜜蜂を詰め合わせた健康セット、ご飯のお供セット、おいらせスイーツセット、お酒とおつまみセットの6種類です。

**質問** 町を知ってもらう、興味を持つ手段としては、町の農家の生産意欲にもつながる地場産品野菜の詰め合わせセットも検討していただきたい。

**町長答弁** 新メニューの追加を含め積極的に取り組まします。

**質問** コールセンター事業の現状は。

**町長答弁** 11月、パソコンの資格試験に31名が受験し、29名が合格との報告を受けています。町としても事業展開について注意深く見守ります。



# 一般質問



橋山 忠 議員

## 町の将来を聞く

**質問** 来年合併10周年となるが、記念事業の計画を問う。

**町長答弁** 町民や職員のアイディアをいただき、28件の事業が提案されました。

主な事業として、誕生10周年記念式典、いきいき健康まつり、長寿青森県ナンバードン目指しフォーラム、記念植樹間木堤しだれ桜植栽、大会初の1千人超えの参加を目指すいちようマラソン大会等々、総予算は1千万円を予定しています。

**質問** 計画の発表はどのような形でいつ行うのか。

**総務課長** 新年度予算に計上し、2月から3月には発表したいと考えています。

**質問** 既存事業への対応は。

**総務課長** 各事業に、冠として「10周年」をつけて行うことを考えています。

**質問** 予算は。

**総務課長** 協議していかなければと考えています。

**質問** 町民への合併効果の調査は。

**町長答弁** 町民の声を聴き、ニーズを把握することは、行政を進めるうえで重要であると認識しており、今後引き続き町民の声を聴く機会を設けていきたいと考えています。

**質問** 町民融和促進の対策を考えるべきでは。

**町長答弁** 町民の融和のために何をなすべきかを考え行動し、周囲を変えていく人の育成が重要と考えています。

**質問** スポーツを媒体とした全町民参加型のスポーツ大会を開催する考えは。

**町長答弁** 役場職員がその役割に一番適任と考えています。

**質問** 社会教育・体育課長

今のところ考えていません。

**質問** 櫛管文の書店について、来秋の開店に変更ありませんか。また計画内容は。

**町長答弁** 来秋開店を目指すと思えば、厳しいとは思いません。

す。

計画内容は、牛込平地区の百石小学校北側の県道百石下田線沿いの土地約2haの計画地に、ホームセンター、スーパーマーケット、ドラッグストアなどの商業施設を予定しています。

**質問** 津波など防災対策と交通安全対策は。

**町長答弁** 町防災計画の周知と避難訓練等を通じて、お客様や従業員の避難誘導を指導していきます。

**質問** 交通安全対策では、商品等の搬入時間を学校の登下校時間と重ならないことや、納入業者への注意喚起を指導していきます。状況によっては、県道からの進入路2カ所に交通誘導員を配置する等の対策も必要と考えています。

**質問** 新庁舎建設計画について、建設検討委員会の討議進捗状況は。

**町長答弁** 候補地としてイオンモール下田周辺を調査検討しましたが、市街化調整区域であることから建設が非常に困難であり、今後は町独自の土地利用計画の見直し作業を進める中で、改めて考えていきます。

## 今冬の除雪対策を聞く

**質問** 除雪対策について、今冬の除雪機の確保は。

**町長答弁** 昨年度の体制は18業者、除雪機36台、町直営の運転手が運転する4台の計40台でしたが、今年度は23業者、除雪機42台、町直営4台の計46台での体制を確保し、計画的かつ効率的な除雪を行います。

**質問** 通学路及び高齢者宅の歩道の除雪対策は。

**まちづくり防災課長** 地域と行政が役割を分担し、協働で町内会等の団体と委託契約を結び実施しています。

昨年は18団体でしたが、今年度は19団体と契約しました。

**質問** 住宅密集地の雪捨て場の確保は。

**町長答弁** 降雪状況を踏まえた中で、現状を確認し、対応を考えます。

## 米価下落対策を聞く

**質問** 現在ある補助対策と今後の対策は。

**町長答弁** 10アール当たり7500円の直接支払交付金のほか、カラムシ防除農薬購入費用の2分の1を補助しており、新たに種子購入代金及び米の乾燥・調整経費の助成を行い、農家の負担軽減を図りたいと考えています。

**質問** 米農家の機械燃料費の一部補助と水がかりの一部補助を検討する考えは。

**農林水産課長** 軽油取引税の免除が今年で切れる予定ですが、継続される見込みです。水がかりは土地改良区により金額差があるため事業対象としていません。

**質問** 町の農業構成の変化とその対策は。

**町長答弁** 今後は共同による農事組合または法人化による安定経営が必要と考えていますが、個人で規模を拡大する農家には機械購入費の一部を助成しています。

一方、耕作放棄地は今後も増加すると考えており、対策として担い手育成や経費軽減のための農地集積と直播栽培の取り組みが必要と考えています。

# 一般質問



田中 正一 議員

## 平成26年度産米の米価下落 町の支援は

**質問** 全国的な豊作基調で推移してきたことや、25年度産米の大量在庫などの理由により60kg当たり1万円を確保してきた米価が3200円も下落し、農家経営そのものが危機的状况にさらされている。

このまま続けば、中核農家や農業後継者の育成が危機的状况になることは明らかだが、町の支援策を伺いたい。

**町長答弁** 26年度産米については、全国的な米価下落を受け、町の米生産農家にも影響をもたらし、補正予算で米価下落対策経営安定助成金64万2千円を計上、種子代金

及び乾燥・調整経費を助成し、農家負担の軽減を図ります。

**質問** 近年、生産資材が2倍近く値上がりしているが、27年度産米に係る生産資材購入に対する支援措置は。

**町長答弁** 27年度産米の生産資材の購入に対する支援については、国、県、近隣市町村の動向を見ながら検討します。

**質問** 町内の高校、小中学校において町内で作られた米や野菜等を活用し、消費拡大して愛用運動の展開を図ることはできないか。

**町長答弁** 県産米は青森県産米需要拡大推進本部で県内外の消費者に対する宣伝活動を行っています。

給食で地元食材を使っていますが、まだまだ拡大すべく努力したいと思います。

**教育長** 町内産米は週2回、旧百石地区小中学校3校へ提供しています。

また、キャベツやニンジン、長芋、ゴボウ等野菜も国産・青森県産を原則としながら、おいらせ町産を給食に使用し、食育として地産地消の取り組みを実施しています。

**質問** 稲作農家が希望を失わ

ないで経営に従事できるよう、国の備蓄米の確保、多用途米の利用拡大による米の需給改善や米価変動に対応する稲作農家経営安定対策について、町から関係機関と連携し要請してほしいが、町の考えは。

**総務課長** 10月8日に国や県に対し、県内の町村会を通じて県内の市長会と共同で県知事に対し米価下落対策の実施を国に働きかけるよう求める緊急要望を行っています。

**質問** 青森県産米の新品種「青天の霹靂」について、青森県南にもなせ種子を配布しないのか。

**町長答弁** 新品種「青天の霹靂」は米食味ランキング最高の特Aを目指し、栽培、出荷基準を定め、生産者を登録制とし、作付け地域を津軽地方の12市町村に限定しています。町村会でも興味があるので、このことを問題提起してみます。

## 町農産物改良協議会 組織の見直しを

**質問** 現在、農産物改良協議会の中に、もみすり協議会が一緒になっているが、分離できないか。

**町長答弁** 町農産物改良協議会は合併前の両町にあつたもみすり調整協議会と農産物改良協議会を統合し、平成18年9月に設立しています。

両協議会の目的及び組織構成が重なることから現在の町農産物改良協議会として組織しています。

**農林水産課長** 分離できないものでもないので、協議会の会員や事務局等で相談し今後の方向性について話し合いたいと思います。

**質問** カメムシ農薬助成について、現在3回目から助成対象となっている農薬散布を2回目のヘリコプターによる農薬散布から対象としてほしい。

**町長答弁** カメムシ防除対策補助金について、米の品質低下を招く斑点コメカメムシが急増し、甚大な被害を受けて

いることから平成19年度から町農産物改良協議会を通じて防除対策を行う米生産農家に助成しています。

**行政管財課長** この助成金について、農協との協議を受けて、3回目の農薬に補助した経緯があります。農薬等も改善されてきていると思うので、農林水産課でそれぞれの指導を得ながら検討すればよいと思います。

**質問** 3回目かけるといっても、農家は大変。3回、4回と農薬をかけると効くが農薬の過剰となる。だから、2回目に助成してほしいが、再度聞く。

**副町長** 厳しい農家の現状に對しての田中議員の熱い気持ちには十分にわかりますが、米価下落に対しそれなりに助成したつもりですし、米だけにというわけにもいきませんが、いろいろ全体のバランス等も考え検討したいと思います。



# 一般質問



高坂 隆雄 議員

## 道の駅設置の考えは

**質問** 平成5年4月に道の駅制度が創設されてから近隣市町を初め全国的に普及しています。

道の駅は地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様な質の高いサービスを提供する施設で、国土交通省道路局の道の駅新規登録案内要綱には、一定水準以上のサービスを提供できる休憩施設を道の駅として登録し、広く案内することにより道路利用者の利便性の向上と施設の利用促進を図り、安全で快適な道路交通環境の形成並びに地域の振興に寄与することを目的とすると記載されています。

そこで、近い将来、町内に道の駅を設置する構想があるのかお尋ねします。

### 町長答弁

現在、町では道の駅を設置するといった構想はありませんが、平成22年度から23年度の2力年にわたり町の産業団体と行政、議会などで構成するおいらせ町地域振興協議会で道の駅の調査研究を行った経緯があります。

平成22年度には町と立地条件が類似する道の駅の視察調査を行い、翌23年度は県内の道の駅に対しアンケート調査を実施し、それをもとに町内の産業団体や産直施設を運営する関係者と懇談会を開催し、意向を伺っています。

その中では既存の産直施設の統合も視野に入れ、地域の特性を生かし他の道の駅にない魅力が必要といった意見が出ましたが、設置に向けては積極的意見が多数を占めたため、それを結論とし、今後新たな展開になった場合は再度検討することで調査を終了しています。

**質問** 観光の入り込み客数は平成25年度、町全体では約74万5千人程度の中で、アグリノの里は約41万人超えですの



で、一定の土地を町へ寄贈いただいて町が道の駅を設置、登録することによって情報発信基地にも

なりますし、県内外からの集客も見込めますので、農産物生産者や加工業者の売り上げと所得向上につながり、よいことづくめではないかと思えます。

**道の駅**の設置・登録要件は、24時間使用できる20台以上の

駐車場とか10基以上の清潔なトイレ、バリアフリー化、ある程度の基準を満たしさえすれば道の駅になりますから、白紙の状態から新たな場所に道の駅を町がつくるのではなく、アグリノの里おいらせ町が手を組んで、町が設置・登録をすると、24時間利用でき、一般客がふえることになると思いますから、前向きに検討して頂きたいと思えます。

**町長答弁** 現時点では全く白紙で考えていませんが、私は、

どちらかといえば慎重な方だと思えますが、高坂議員の考えは大変参考になる部分はあると思えますので、それらは私も研究はさせて頂きたいと思えます。

## 第二みちのく有料道路にETCの設置を

**質問** 第二みちのく有料道路料金所に、ETC対応レーンを設置して利用者の利便性向上を図るべきと思いますが、町はどう考えますか。

**町長答弁** 第二みちのく有料道路料金所にETC対応レーンが設置されると利用者にとっては大変便利であると認識しています。

第二みちのく有料道路を管理する青森県道路公社に確認をしたところ、公社では経費の削減に努めながら債務を返済しており、ETCの導入による新たな投資、料金徴収コストの増加は経営的に大きな支障となるため、現状ではETCの導入は困難であるとのことでした。

**質問** JR東日本のICカード「Suica（スイカ）」を使われた方は非常に便利だと感じていると思いますが、JRから民間の鉄道、そして

バス会社いろいろこの1枚のカードで、それも財布に入れたままポンとタッチするだけで料金の精算ができるという便利なものです。

車について、ETCシステム搭載車は非常に多いわけで、住んでみたい町とか、よく標語的に使われますが、やはり便利な所が、不慣れな所と比較されますから、どうしても住んでみたいとなったときには、ある程度時代とともに発展進化するところできなくてはならないと思っています。

年間を通じて大渋滞が発生するのは三沢基地航空祭のときです。このETC対応レーンの設置を希望するのは、渋滞緩和も目的の一つですが、ETC設置によって利用者が非常に便利に利用できます。

現状、北部の人がジャスコのところから乗られて南へ行く人も結構多いんですね。ETC対応レーンがあれば北部から乗ってある程度の収入も県に入るはずですから、確かに費用対効果というのはありますが、いずれどういふ地域を創るのかということも考え合わせながら、町としても活動してほしいと思えますので、要望とします。

# 確かな産物と将棋文化でのまちづくり

## 総務文教常任委員会視察報告（大阪府大阪市・岡山県倉敷市）

去る平成26年10月1日から3日まで当常任委員会の視察研修を委員6名と随行人員1名の計7名で実施しました。

### 近畿圏の台所を預かる

#### 巨大市場

最初の視察先は、大阪府中央卸売市場であり、その目的は青森県並びに当町で生産される、かつ出荷されている農水産物の関西地区における位置付け及び評価について視察しました。

同市場では、日本全国及び世界各国から物が入荷しており、平成25年度総取扱量61万6千トン、売上高2390億円であり、まさに近畿圏の台所を預かる巨大市場です。その中において、青森産はりんご、長芋、にんにく等市場の一角を担っていることので

した。

また中央市場では学生及び一般人に対し積極的に無料で市場見学等をおこなっており、せりの状況や商品の品揃えも見学することができ、商品購入も可能です。さらには、食品衛生検査所が設置され、安全、安心のための監視と検査により、細菌基準、残留農薬基準、食品添加物基準等の検査が実施され、基準を超えるものは販売停止を行っており、食の安全が徹底されています。

このような状況の下で、食品に対しては物流のグローバル化が進み、より一層の食に対する安全、安心が求められるところであり、国としての検疫の強化が必要であり、且つ多様化する消費者ニーズに応えるために品質向上や旨味の追及など、さらなる産地間

競争も激化しており、当町の生産者の皆様におかれましても、この競争に勝ち残り、おいらせブランドの確立を目指していただきたいと心から願い、行政としても積極的に関与、助成をしていかねばならないと心に期し、市場をあとにしました。



山と積まれた青森県産長芋の前で

### 多種多様な

#### 将棋のまちづくり

次の視察先は、当町において毎年実施している全国将棋祭りに関し、多大なるご支援ご協力を賜っている岡山県倉敷市を視察しました。

同市は瀬戸内海に面し中国地方の拠点となる人口約48万人の中核都市であります。白壁の町並みで有名な美観地区をはじめ、「日本の夕陽百選」に選ばれた鷺羽山の夕陽など観光資源が豊富にあり、年間600万人以上が訪れる観光都市であるとともに、工業集積地である水島コンビナートや医療、福祉、芸術等を専門とする特色ある大学を有し、自然、歴史、文化、芸術、産業等のバランスが取れたまちです。

まず倉敷市議会に表敬訪問をし、日頃当町がお世話になっていることに関し、お礼と感謝を申し上げ、今後とも引き続き良好な関係を継続していくことを再確認しました。

同市の将棋でのまちづくりは多種多様であり、故大山康晴十五世名人出身の地であることから将棋に関する事業には、ほぼ「大山名人」または「倉敷」という冠がついており、「将棋のまち 倉敷」を全国に発信しています。さらには地元商店街や住民有志による「縁台将棋」や「詰将棋ラリー」等も実施しており、また毎月2回の「将棋道場」を無料で開催し、年代や性別、地域を超えて将棋を通じて集うことを実施しています。

懇談後、倉敷市議会のご配慮で大山名人記念館や大原美術館等も見学することができ、文化の薫り高い倉敷に浸り、思うことは我が町も良いところをさらに良くし、おいらせ町の魅力を他に発信し地元の宝物の原石を探し、そして磨き、住んでみたいまちづくりを目指さねばならないと思いました。

総務文教常任委員会

委員長 柏崎 利信 記



# 大地震を想定した庁舎と先人の知恵を

## 受け継ぐ避難施設

産業民生常任委員会視察報告（静岡県函南町・袋井市）

去る10月21日から23日まで実施した静岡県函南町・袋井市における調査活動の概要を報告します。

委員6名は静岡県函南町の役場庁舎と袋井市の防災・津波対策について調査しました。

### 計画から完成まで 16年を要した庁舎

初日に訪問した函南町は静岡県東部、伊豆半島の入口に位置する町で、神奈川県に接し、近隣の沼津市や三島市などとともに、県東部の中心都市部を形成しています。

函南町役場庁舎は、約46億1800万円の費用と2年の歳月をかけ、平成17年6月に完成しました。

建設に至る経過としては、旧庁舎の老朽化が進み、また軟弱地盤上にあり耐震化工事ができなかったことから、建て替えのため、平成元年度から



町民の利便性を考えた総合窓口

庁舎建設構想策定委員会等を組織し、庁舎建設場所や基本構想について協議しています。

建設費については起債を發行せず、平成2年度から12年間積み立てた庁舎建設基金約37億3千万円を充て、不足分は経費を節減し、一般財源を足して建設されました。

完成した庁舎は免震構造を採用した鉄骨鉄筋コンクリート造8階建て（高さ34・6m）

となっており、耐震性に優れています。また、屋上部分には緊急救助用のホバリングスペースを設け、敷地内には飲料水用の耐震性貯水槽（60t）を埋設し、災害時には防災拠点として機能します。

そのほか、住民の利便性を第一に考え、各種諸証明を発行する税務課と町民課の窓口を一つにした総合窓口を設けていました。

今回の調査は、今後計画される当町の新庁舎建設に対する機能面、財政面から参考となりうる貴重なものでした。

### 公園として使える

#### 津波避難施設

2日目に訪問した袋井市は静岡県西部に位置し、東は掛川市、西は磐田市に接しており、東海道五十三次の中間点であった袋井宿が市名の由来

となっています。

袋井市では、南海トラフ巨大地震で最大約10kmの区域での浸水が想定されているため、既存公共施設・民間施設を利用し、避難場所を確保しています。

また、江戸時代に台風による高潮から身を守るため「命山」と呼ばれている人工の小山を築き、その後の被害を免れていたことから、市では同じように約1億4200万円の費用をかけ、現代の「命山」として平成25年12月に津波避難施設となる「湊命山」を築いていました。

この「湊命山」は海拔10mの頂上部分に1300人が避難でき、車いす等により避難

が可能なようにスロープも設置され、普段は公園として使われています。

施設整備のほか、地震・津波対策アクションプログラムとして、家具固定器具に対する補助やブロック塀等の耐震改修、家屋耐震補強工事への補助制度など、11の主要施策に沿った100事業に取り組みんでいました。

想定される被害の差はありますが、古くから大地震発生が懸念されている地域の防災対策は、ハード面だけでなく、ソフト面でも大変参考になりました。

産業民生常任委員会

委員長 吉村 敏文 記



人工の小山「湊命山」



頂上部分は1,300㎡の広さ。ヘリコプターが着陸可能。

# 防災ドーム建設に向け現地調査を実施

総務文教常任委員会・産業民生常任委員会



グリーンドーム南郷  
(総工費約13億7600万円)



町内産木材を使用した「もく・木ドーム」  
(総工費約1億3730万円)

平成27年1月13日、総務文教常任委員会（柏崎利信 委員長）と産業民生常任委員会（吉村敏文 委員長）の2つの委員会により合同現地調査が実施されました。

今回、防災型多目的ドーム建設について議論を重ねていることから、2カ所の類似施設を調査してきました。

現地調査の対象となったのは、八戸市南郷区にある「グリーンドーム南郷」と岩手県葛巻町にある「もく・木ドーム」の2カ所です。

前者は床面積約4800㎡、後者は同約1200㎡と4倍の差がありますが、建設費は約10倍の差となっています。

参加委員13名は、各施設の担当職員から概要説明を受け、おいらせ町に必要なドームの面積や工法について話し合いながら、現地状況を調査・確認しました。

## 「ぎかいだより懸橋」を拝読して

百石タクシー 社長 富岡良彦さん



先日、ある議員さんから、「ぎかいだより」に掲載するコメントが欲しいと依頼がありました。

私はまだ傍聴したことはないのでですが、第35号を読んでみて、「平成25年度各会計の決算を認定」のところに監査意見として、「地方債が減り、基金残高が増えたことから健全財政への努力が見受けられる」とありました。まず

もって町の財政がよい方向に進んでいることに対して、各部門で尽力されている皆様に感謝したいと思います。

続いて「しかし…今後、難しい状況が続くことが予想されるので予断を許さない」とあります。

これに対し、私たち町民一人一人が、また議員の皆様、町長さん、役場職員一同等が「一枚岩」となって、「魅力あるおいらせ町」をめざし、ともに手を取り合っていきたいと感じました。

## 第1回定例会のお知らせ

任期最後の定例会となります。

平成27年度当初予算について審議する予定です。

平成27年3月5日（木）から開会予定

会場は本庁舎3階の議場で、開始時間は原則10時からです。

●問い合わせ 議会事務局（本庁舎3階）

●電話 0178(56)2112

## 編集後記

近年、地方議会における議会改革のうねりが全国的に高まっています。

このうねりの代表的な例が議会基本条例の制定ですが、この条例は、地方分権時代に合った議会運営のあり方や、議会で何ができるのか議論され、決定されているのか広く町民に明らかにすることなどを定めるものです。

現在、全国の都道府県議会を含む地方議会の約3分の1が、この条例を制定し、県内の町村では、昨年、野辺地町議会が制定しています。

当町議会も遅れることのないよう、「一問一答方式」に続く議会の活性化対策や、議会改革に積極的に取り組み、この「ぎかいだより懸橋」で町民の皆様にお伝えしたいと考えています。

委員 馬場 正治 記

